

## 令和5年度 第3回千葉市スポーツ推進審議会議事録

- 1 日 時 令和6年3月14日(木) 午後2時00分～午後3時20分
- 2 場 所 千葉市役所新庁舎(高層棟)2階 XL会議室201
- 3 出席者 (委員)  
小川直哉会長、本澤英雄副会長、上田日登委員、五月女重夫委員、高橋薫委員  
馬場宏輝委員、吉澤裕子委員  
(事務局)  
小名木生活文化スポーツ部長、内谷スポーツ振興課長、伊橋スポーツ振興課長補佐、  
奈良担当課長補佐、田口主査、内山主査、松本主事、島崎主事、酒井保健体育課長、  
桑田担当課長、東主任指導主事、布施公益財団法人千葉市スポーツ協会事務局補佐

### 4 議 題

#### (1) 報告

- ア WEBアンケート調査の結果
- イ 令和5年度スポーツイベントの開催状況
- ウ 令和5年度トップスポーツ連携事業
- エ 令和5年度千葉市スポーツ功労者
- オ 令和5年度教育・文化・スポーツ功労者
- カ アスリート支援制度について
- キ 部活動地域移行について

#### (1) 議 事

- 千葉市のスポーツ推進への提言(案)

### 5 議題の概要

#### (1) 報告

- 7項目の報告を行った。

#### (2) 議事

- 千葉市のスポーツ推進への提言についてご審議いただいた。

### 6 会議経過

開 会 午後2時00分

【伊橋課長補佐】本日の進行を務めます、スポーツ振興課の伊橋でございます。なお、本審議会は千葉市情報公開条例により、公開することになっております。本日傍聴者はありません。なお、会議終了後、議事録の作成、議事録の確定を行い、開示されることとなりますので、あらかじめ御了解ください。それでは次第に従いまして、はじめに、小川直也会長にご挨拶をお願いいたします。

【小川会長】みなさんこんにちは。本日は、年度末のお忙しい中、令和5年度第3回スポーツ推進審議会にご出席いただきましてありがとうございます。

現在、ドジャーズに移籍をした大谷選手の活躍が毎日のように報道されており、野球ファンにとっては嬉しいことかと思えます。一方、千葉市におきましては、千葉ポートアリーナを本拠地にしておりますバスケットボールクラブのアルティリー千葉がB2リーグ東地区で勝率9割を超える圧倒的な強さで優勝し、非常に喜ばしい限りです。今回の報告事項の「令和5年度トップスポーツ連携事業」にもありますが、アルティリー千葉は学校訪問活動に積極的に取り組んでいただいております、非常に感謝を申し上げたいと思えます。

本日は報告事項が7件、審議事項が1件となっておりますのでよろしく願いいたします。

【伊橋課長補佐】ありがとうございました。続きまして、生活文化スポーツ部長の小名木よりご挨拶申し上げます。

【小名木部長】みなさんこんにちは。本日はご多用の中ご出席賜りまして誠にありがとうございます。また、日頃から本市のスポーツ行政にもお力添えを賜っておりますことを感謝いたします。誠にありがとうございます。

2022年、2023年の2年間では、新型コロナウイルスの影響によりましてスポーツイベントの中止や縮小が余儀なくされておりましたが、今日では、制限が解除され従前の規模または従前の規模に近い状況での開催に至っており、市民生活はもちろんのことスポーツの取り巻く状況も大きく変化してきたところでございます。

そのような中、本年度の本市のスポーツの状況に関してとなりますと、ホームタウンチームの活躍が目立った年になったものと感じておりまして、ジェフユナイテッド千葉のJ1昇格プレーオフへの進出、千葉ロッテマリーンズのリーグ第2位、現在もシーズンは続いておりますが、アルティリー千葉のB2リーグ東地区優勝、さらには、千葉ゼルバのホームタウン千葉市デーがYohasアリーナ～本能に、感動を。～で初開催されるなど、市民の方そしてサポーター・ファンが大いに盛り上がったものと存じております。また、Xgamesちば、ジャパンビーチゲームズフェスティバル、パラスポーツフェスタ、スポレク祭等、各種スポーツイベントが昨年引き続き開催されたところでございますが、これもひとえにスポーツに関わる皆様のご尽力によるものでございまして、様々なスポーツに触れることのできる機会を多く創出することが出来たものと考えておりまして、大変ありがたく、嬉しく思っております。

3月末からは幕張西スポーツ広場がオープンし、来年度からはアスリート支援制度も開始となるなど新たな取り組みがスタートされます。今後もより一層本市のスポーツ振興に向けて取り組んで参りたいと考えております。

最後になりますが、各委員におかれましては、2年間にわたり本市のスポーツ振興のため、ご審議いただきましたことに厚く御礼申し上げます、私からのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

【伊橋課長補佐】それではこれからの進行につきましては小川直也会長にお願いいたします。

【小川会長】それではまず、「議事録署名人」についてですが、先程、進行の方から説明がありまし

たように、本審議会は会議の公開がされているわけでございます。議事録の確定方法につきましては、「あらかじめ指名された委員」による承認にしたいと思いますですが、よろしいですか。

【各委員】 <異議なし>

【小川会長】 それでは、議事録署名人として、高橋委員にお願いしたいと思います。高橋委員よろしくお願いたします。

【高橋委員】 <了承>

【小川会長】 それでは、会議次第に従いまして、進めてまいりたいと思います。最初に、報告事項アの「WEBアンケート調査の結果について」、スポーツ振興課よりお願いします。

【スポーツ振興課】 <資料1により報告>

【小川会長】 それでは今までの報告の中で何かご質問等ありますか。

【高橋委員】 このアンケートはさきほど市のHPから回答いただいているとの事でしたが、HPへの誘導は何か行っていたのでしょうか。

【内谷課長】 基本的にはHPへアクセスしていた方に回答していただいております。

【高橋委員】 このアンケートは毎年実施されているのでしょうか。

【内谷課長】 毎年実施しております。

【高橋委員】 昨年は、どのくらいの回答率があったのでしょうか。

【内谷課長】 昨年の回答者数は1,694人になっております。

【高橋委員】 ありがとうございます。

【小川会長】 Q5の体験してみたいと思うコンテンツの回答で「マリンスポーツ」との回答が多くあったことは意外に感じましたが、「上記には1つもない」との回答が他の項目に比べて一番多いのですが、これはどういったことなのでしょうか。

【内谷課長】 みなさんがよくやられている種目以外のスポーツを絞り込みし、回答をお願いしてるものになります。全てのスポーツを選択項目に含め比較できるような形も検討していきたいと思います。

【小川会長】 わかりました。ありがとうございます。

そのほか何かございますでしょうか。

続いて、報告事項イの「令和5年度スポーツイベント開催状況について」スポーツ振興課よりお願いします。

【内谷課長】 <資料2により報告>

【小川会長】 ありがとうございます。ただいまの報告について、何かございますでしょうか。

【各委員】 <なし>

【小川会長】 続きまして、報告事項ウの「令和5年度トップスポーツ連携事業」についてスポーツ振興課よりお願いします。

【内谷課長】 <資料3により報告>

【小川会長】 ありがとうございます。ただいまの報告について、質問・ご意見等ございますでしょうか。

【各委員】 <なし>

【小川会長】 続きまして、報告事項エの「令和5年度千葉市スポーツ功労者」、報告事項オの「令和5年度教育・文化・スポーツ功労者」についてスポーツ振興課よりお願いします。

【奈良担当課長補佐】 <資料4,5により報告>

【小川会長】 ありがとうございます。ただいまの報告について、質問・ご意見等ございますでしょうか。

- 【各委員】 <なし>
- 【小川会長】 続きまして、報告事項カの「アスリート支援制度」についてスポーツ振興課よりお願いします。
- 【内谷課長】 <資料6により報告>
- 【小川会長】 ありがとうございます。ただいまの報告について、何かご質問・ご意見等ございますでしょうか。
- 【馬場委員】 それぞれの支援制度において対象人数の制限はあるのでしょうか。
- 【内谷課長】 予算の範囲内での支援となります。  
トップアスリート支援制度については、どちらかという対象者が絞られるように考えております。次世代アスリート支援制度については、対象競技を広く設定しておりますので、金額的にも浅く広くの制度設計を考えております。
- 【馬場委員】 わかりました。ありがとうございます。
- 【小川会長】 ほかに何かございますでしょうか。
- 【上田委員】 次世代アスリートの団体競技は5人を限度に定められているとの事ですが、その5人の根拠について教えていただきたいです。
- 【内谷課長】 競技によって1人で行う競技、2人で行う競技、サッカーであれば11人、バレーボールであれば6人、野球であれば9人、ラグビーであれば15人とレギュラー数に差があり、そのようなレギュラー数の差をどこまで認めるかを勘案したものでございます。レギュラーの数で補助金を交付するとの議論もあったのですが、予算の範囲内ということもありましたので、5人を上限に交付する方向で設定したところでございます。
- 【上田委員】 わかりました。ありがとうございます。
- 【小川会長】 ほかに何かございますでしょうか。  
最後に、報告事項キの「部活動地域移行」について保健体育課より説明をお願いします。
- 【桑田担当課長】 <資料7により報告>
- 【小川会長】 ありがとうございます。ただいまの報告について、何かご質問・ご意見等ございますでしょうか。
- 【小川会長】 一つよろしいでしょうか。この人材バンクの登録が現在23人とのことですが、種目的にはどのような種目の方がいるのでしょうか。
- 【桑田担当課長】 野球、サッカー、バドミントン、卓球、吹奏楽等、文化部も含め様々な種目の方が登録されております。
- 【小川会長】 ありがとうございます。他にございますでしょうか。
- 【五月女委員】 五月女です。人材バンクについて以前、千葉県ではスポーツリーダーバンク、千葉市ではスポーツコーチ登録という2本立てでやっていたのですが、こちらと同じものになるのでしょうか。
- 【桑田担当課長】 この千葉県の人材バンクは、千葉県が地域移行に合わせて新たにつくったシステムとなっております。自治体側として必要とする人材の募集を、指導したい方は自分が指導できる種目・エリアの登録を行うことができます。自治体・指導者双方がそれぞれを検索できる仕組みとなっております。また、システム上でメッセージのやり取りを行うことが可能となっております。実際に同システムを経由して採用し、3月から部活動指導員として勤務していただく学生の方もいらっしゃる、かなり期待度の高い仕組みとなっております。
- 【五月女委員】 それは千葉市内でしょうか。
- 【桑田担当課長】 登録は、千葉市内・外を問いません。

- 【五月女委員】少年スポーツ連盟やスポーツ少年団などの少年スポーツに携わっている指導者に周知をしていただき、その指導者たちが声がけをできればいいのではないかと感じております。また、運営の面で、我々社会体育の指導者は会員の方から会費をいただいて運営をしております。トップの方の理解がある団体やジェフのような大きな組織であれば問題ないかと思うのですが、5人、10人レベルで運営している社会体育の団体に大勢の部活の生徒が会費なしで来ると、会費を納めている会員が気持ちよく思わないと思います。なので、そういう人たちに対しては丁寧な説明をしていかなければならないと思います。地域移行を進めるにあたり、そういったところのご理解いただくこと、本来であれば会費が発生するというところの面も考えていかなければ、社会体育サークルの存続が危ぶまれるのではないかと感じております。
- 【桑田担当課長】ありがとうございます。いただいたご指摘ですが、確かに部活動と現在進めている地域クラブ活動、現に活動している団体との棲み分けをすることは非常に重要な課題と考えております。そういった課題に対しては、他自治体の先進事例がいくつかございますので、良い点を取り入れながら実施していきたいと考えております。なお、現時点では無償で地域の団体に生徒を無条件で受け入れてもらうということは考えておりませんので、各団体のルールに基づいた活動が望ましいと現時点では考えております。
- 【五月女委員】自治体によって保護者の負担額の違いがあることや、競技によって使用する道具や場所の確保にかかる費用は違いますので、そのような点は今後どのように検討していくのが気になりました。もちろん、我々の立場としてもご協力はいたしますのでよろしくお願い致します。
- 【小川会長】ありがとうございます。他にございますでしょうか。
- 【馬場委員】市原市では、部活動を地域に移行するのではなくて、部活動が無くなった時に子どもたちの受け皿を地域でどう作るのかということを中心に準備をしております。なので現在は受け皿となるクラブをどう作っていくかということ考えております。また、あわせて、指導者の育成プログラムづくりについても考えております。なので、平日の部活動を行い、週末はなにもしないという選択肢もありますし、平日の部活動はやらないが、週末のクラブに参加するとの選択肢もあります。また、平日とは違う種目を週末に行うことや1年間で2種目行う地域のクラブに参加するといった選択肢もあります。その子どもたちが中学生から高校生になった時も、小学生の時に所属していたクラブで活動することのできる受け皿づくり、中学校から始めるのではなく、小学生のころからスポーツ少年連盟と連携をして、クラブで活動している子をそのまま移行できる受け皿づくり、地域のクラブをうまくつくろうということで進めております。
- 【小川会長】ありがとうございました。他に何かございますでしょうか。
- 【吉澤委員】部活動地域移行の取り組みについてよく理解できました。私たちの活動はビーチの活用を促進しているところですが、まだまだビーチスポーツは実施できる環境が少ないというのが課題となっております。その中で健康的に活動できる場所として、養護施設の方や不登校の方を招待してビーチスポーツを体験できる場の提供、裸足になる機会の創出をしているのですが、今後、地域クラブの取り組みとして不登校の方や養護施設の方々をどうやって運動不足を解消するかということも非常に悩ましいところではありますので、千葉市の取り組みの一つとしても検討いただければと思います。
- 【小川会長】ありがとうございました。他に何かございますでしょうか。
- 【本澤副会長】1月頃に大谷選手から全国にグローブが寄贈されました。私も学校で拝見したのです

が、飾られており非常にもったいないと感じました。せっかく機会があるのですから、グローブを使用して遊ぶ、授業でよい活用方法があれば今後検討していただきたいと感じております。

【酒井課長】保健体育課の酒井と申します。ご意見どうもありがとうございます。大谷選手から寄贈されたグローブについては、昨年12月に保健体育課に届き、順次、各学校に3つのグローブの引き渡しを行いました。引き渡し後は、集会等の場でグローブを披露し、そのあとの活用方法としては、大谷選手の思いを受けて、野球を始めるきっかけ、スポーツに親しむ習慣づくりといったメッセージとともに紹介していただき各学校で活用するよう周知しております。その後、活用状況の調査では、体育の授業で低学年ではボールを使った遊び、中学年・高学年ではハンドベースボールなどのベースボール型のスポーツを行う導入の中で、グローブを使いキャッチボールを行うほか、学校によってはクラスごとにグローブを回して休み時間に使用していることなどが確認できました。使用していない際には、校長室、職員室等で適正に管理していると聞いております。各学校へは引き続きグローブを有効に活用するように伝えていきたいと思っております。

【本澤副会長】ありがとうございました。

【小川会長】他に何かございますでしょうか。

【各委員】<なし>

【小川会長】次に、議事に入ります。議事「千葉市のスポーツ推進への提言（案）」について説明をお願いします。

【内谷課長】<資料8により説明>

【小川会長】ただいまの提言につきましてご意見や修正等ありますでしょうか。

【高橋委員】「みる」スポーツが、現地でみる（観戦）ということだけではなくて、ネットで「みる」ということがこれからの世代での比重が大きくなると思うので、そのような点について考えていく必要があるかと思えます。

【小川会長】他に全体をとおして何かありますでしょうか。

【高橋委員】アンケート調査で「テレビやインターネットで観戦した」との項目があるかと思うのですが、テレビで観戦、インターネットで観戦と項目分けをしてアンケートの実施をしていただけるとまた違った傾向が確認できるかもしれませんので、検討いただけるとありがたいです。

【小川会長】他に何かありますでしょうか。

【馬場委員】いろいろな施策をみていると、近代スポーツの高度化に引っ張られているような気がしています。事業についてもトップスポーツの推進事業やスポーツ功労者においても競技スポーツで顕著な成績を収めた方を対象にした事業が多いような気がしております。スポーツ全般を考えると、今はウェルビーイングに踏み込んだ施策・PRがないと視野が狭くなってしまいます。パラスポーツにおいてもパラアスリートを対象とする事業になっており、障害のある方の日常的なスポーツ支援にはつながりにくいものが多いので、スポーツの価値を高めていくような取り組みが必要になると思えます。それは、スポーツの競技的な価値を高めるのではなく、スポーツの文化的な価値、身体的教養としてのスポーツの価値などを高めるようになっていくと良いなと感じました。

【小川会長】私も強く感じているのは、どうしても日本スポーツ界は国体で上位の成績を収める、

オリンピックに出場するということがアスリートとしての勲章となることが多いところございますが、現在は高齢化社会に対応したスポーツやパラスポーツの普及、大会の成績だけではなく広くスポーツの裾野を広げるような取り組みが必要であると痛感しております。

【小川会長】他に何かございますでしょうか。

【各委員】<なし>

【小川会長】それでは、提言（案）としてはこちらの内容でよろしいでしょうか。

【各委員】<了承>

【小川会長】それでは議事については以上としたいと思います。

その他何かありますでしょうか。

【内谷課長】委員の皆様の任期は令和6年6月までとなっておりますので、今回の審議会が任期内において予定されている最後の審議会となります。2年間にわたり本市のスポーツ推進にご尽力賜りましたこと、改めまして御礼申し上げます。ありがとうございました。

【小川会長】それでは、以上で本日の協議を終了いたします。内谷課長からありましたとおり、われわれの任期は6月末までとなっております。任期中での審議会は特段の事情がない限り今回で終了となります。2年間大変お疲れさまでした。進行を事務局にお返しします。

【伊橋課長補佐】小川会長議事進行ありがとうございました。それでは、これをもちまして、「令和5年度第3回千葉市スポーツ推進審議会」を終了致します。ありがとうございました。

閉 会 午後3時20分